

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
天野 礼子	あまの れいこ	NPO法人「日本に健全な森をつくり直す委員会」	H23年より、島根県西部の高津川流域の三市町、益田市、津和野町、吉賀町に「総合特区」への立候補を推め、当選。「アドバイザー」を務めた。事務局長を務めるNPO法人「日本に健全な森をつくり直す委員会」では養老委員長と共に、高津川流域に「二地域居住から定住へ」を進めてきている。
安藤 周治	あんどう しゅうじ	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター/特定非営利活動法人ひろしまね	過疎問題を解決したいと思いを起こしてから以後地域づくりに関わる。過疎地域、中山間地域を巡検するのが日常の活動である。20年前から「集落の力」が急になくなりはじめたことに危機感を覚え、集落支援のための「もう一つの役場(集落支援センター)」の提案をはじめた。そして実証実験を進め、その可能性と必要性を実証することができた。高齢者福祉、教育や子育て、買い物、移動手段、小銭を地域で回す産業、新しい旅の企画などを今も継続しながら社会実験を進めている。NPO法人などによる地域課題解決のための支援活動や、行政や企業などと協働によるまちづくりの支援を、ひろしまセンターにおいても進めている。
飯倉 清太	いいくら きよた	特定非営利活動法人 サブライズ	PDCAではなく「D」から始めるフィールドワーク「DPDCA」 「若者を行う地域活性」を軸に展開している 現在の地方問題には「高齢化」「少子化」「人口流出」など様々な問題が複合的に絡んでいます。これを是正するには短期的な目標と中長期の目標設定が必要となります。そこで私たちNPOサブライズでは静岡県東部伊豆を中心に高校生や大学生と取り組む地域活性を実施しています。大きな目標を掲げることも大事ですが実際はスモールスタートがとても重要となります。様々なディスカッションやセミナーを開催しつつ、最短の地域活性と行動力を育成するために「清掃活動」を中心とした活動にてリーダー育成を実施。また現場だからこそ得ることの出来る「連絡調整能力」「遂行能力」「討論能力」「コミュニケーション能力」などを学んでいます。これを基にして地域の素材を再確認し、編集そしてバリューを付けて再発信を行う事を実施しています
伊東 将志	いとう まさし	夢古道おわせ	官民一体となった観光交流事業「夢古道おわせ」の管理運営。 ①地元集落のお母ちゃんをグループ化し、各地にチームを形成。 集落の食文化の伝承をテーマにランチハイキングによる交流人口増加を図る。 ②間伐材活用によるイベント「全国一斉100のありがとう風呂」を主催。 全国47都道府県400カ所以上の温浴施設で導入実績あり。 地域資源であり、後継者不足等で課題にもなっている一次産業の問題に独自の手法でアプローチし、全国各地より同時多発的にメディア掲載することを得意としております。 また、都市部の若者×地域の漁村・農村集落をテーマに人材のマッチングも行う。 全国の自治体や商工会・商工会議所において官民一体のまちづくりや地域資源活用による取組みへの支援も行っています。
井上 弘司	いのうえ ひろし	CRC地域再生診療所	○全国各地にて、観光・ツーリズム・6次産業化・雇用創造・中山間地域振興等の講演、年間指導 1. 地域診断の実施(地域課題の整理分析)および課題に基づいた人材育成 2. 地域再生・地域振興に必要なアドバイスの実施 ・グリーン・ツーリズム、ニューツーリズムの推進支援 ・DMO、観光まちづくり事業体の設立指導 ・地域再生の手法や地域づくり・人づくり ・地域資源開発(6次産業化支援) 食、文化歴史、直売所、農村レストラン、農家民宿、体験プログラム、ツアー造成指導 有害鳥獣対策と活用 3. 地域人材育成プロデュース

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
井原 満明	いはら みつあき	㈱地域計画研究所	①衰退する地域の再生を図るために、ライフスタイルの価値観を変えるグリーンツーリズムと地域の資源を地域で生かすエコミュージアムの融合展開(着地型観光)。②高齢者の手仕事に光をあてた「マイスター」制度の創設(年金+α)。③高齢者が中心となって集落ワークショップを開催し、地域で高齢者を支えあう仕組みづくり(飯豊町で2009年～現在まで)。④ローカル線の活性化と沿線集落の再生を一体化し各駅を拠点に駅カフェの開催、駅から集落を巡るフットバスなどの地域づくり。⑤周辺地域(農村部)との連携を前提に住民参加協働型第3セクター「まちづくり会社」を設立(中心商店街活性化)。⑥2010年9月から長野県木島平村に招聘され農村文明塾の運営に取組む。首都圏等の学生との連携を図る農村版大学コンソーシアム、小規模自治体職員を対象に行政コンソーシアム、全国村長サミットの開催、住民の学ぶ場「農村学講座」等を実施(～2015年3月)。⑦佐渡市が提唱する「福祉版コンパクトシティ」の取組助言。⑧高齢社会に向けて「複数の高齢者が一人の若者を育てる」を合言葉に団塊世代が築いてきた「暮らしと生業の小さな社会資本」を若者に譲り渡す社会を目指した地域づくりを提唱。
大島 肇	おおしま はじめ	㈱アール・ピー・アイ	大学在学中より漁村や水産業を対象とした調査・計画に従事。(㈱漁村計画研究所、財団法人漁港漁場漁村技術研究所を経て現職。地域経済の分析、産業振興とりわけ水産業や漁村振興に主に取組んでいる。水産業や漁村の振興のため、平成22年より、全国の漁業者等と共に、㈱エンジョイ・フィッシャーマンを設立、取締役として、都市漁村交流、食育、魚販売といったプロジェクトの企画、運営、調整にも取組んでいる。
大宮 透	おおみや とおる	小布施町	小布施町では、特に、行政と地域住民、地域外の住民(特に若者)などの様々なアクターを繋ぎ、新しい価値を創造するための活動を展開している。プロジェクトをベースとして、議論の場をつくり、多様な視点を持ち寄って、若者をターゲットにしたまちづくりプロジェクトを企画。 2012年からは、全国から集まった200名の若者が日本の未来を語る場づくり「小布施若者会議」を企画運営するとともに、2013年には、ハーバード大学をはじめとする世界中の大学生とともに、高校生を対象としたサマーキャンプ「HLAB OBUSE」の企画運営をコーディネートしている。また、それらの取り組みを積極的に地域外に発信しながら、「若者が活躍できる町」としての小布施町のブランドづくりと、それを実現するための制度構築を行政と連携しながら推進している
大宮 登	おおみや のぼる	高崎経済大学 地域政策学部	組織における実務的な能力開発や自己啓発、地域に根ざした住民の組織づくり等について、地域づくりと住民組織の関わりからフィールドワーク中心に研究。特に、NPO法人DNAの代表顧問、さくらプロジェクトの会会長、食品リサイクルるーぶ事業会長等の活動も推進している。
岡田 昭人	おかだ あきと	(社)コミュニティネットワーク協会 ／早稲田大学都市・地域研究所	埼玉県上尾市の密集住宅地再生事業においては連鎖型の共同建替えの4プロジェクトに関わり、その後墨田区向島地区の密集住宅市街地でのまちづくり活動や鳥取市中心市街地での老朽化した防火建築帯のコンバージョン・リノベーションに向けた修復改善型の整備計画策定に携わっている。 近年は福祉、医療関係者と連携しながら、高齢者の住居・生活改善支援及びLLPやLLCを立ち上げ、住まいづくりの主体づくりの支援をしている。また社団法人コミュニティネットワーク協会が運営するコミュニティファンド研究会で、新しい市民ファンドの仕組みに向けて調査・研究、提案を行っている。 花巻市東和町では、商店主や高齢居住者が地域で支え合いながら暮らすための共同店舗や住まいづくりを様々な制度を活用した共同建替え事業支援やエリアマネージメントを志向するまちづくり会社を支援しながら、空き地空き家を活用した美術展や自律的財源を確保するためのまちづくりファンドの組成など地域再生に向けての実践活動を行っている。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
岡部 友彦	おかべ ともひこ	コトラボ合同会社	<p>12年間の地域活性化事業のノウハウを踏まえ、2012年度より愛媛県松山市三津浜地区にて地域活性化事業をとして空き家バンク、空き家活用事業、コミュニティアセット事業を行っている。</p> <p>弊社では、地域に直接入り、地域の人々、企業とともにボランティアではなく、事業としてのまちづくり事業の構築を行っています。</p> <p>【街や地域の新しいイメージを創り出す】 まちづくりや地域活性化プロジェクトなど、地域の活動には、様々な人の協力が必要となります。プロジェクト自体を多くの人々に知ってもらうためにも、発信手法の検討は欠かせません。</p> <p>コトラボでは、イギリスの都市再生で行われているプロジェクトのプロモーションムービーにならって、街の現状や眠っている「資源」を可視化させたり、統計データを一目で分かるようなヴィジュアル化などを取り込みながら、プロジェクトやその地域に興味をもってもらえるような映像を創っています。http://vimeo.com/52294907</p> <p>【地域の空き家と借りたい人とをマッチング】 2013年より愛媛県松山市より地域活性化事業を受託。築150年の古民家なども多く残っている港町三津浜地区の空き家を一軒一軒調査し活用可能な物件を収集、三津浜町屋バンクと称して広く利用者を募る。http://mitsuhamaru.com</p> <p>【地域資源を活用した地場産業づくり】 日雇い労働者の街であった横浜寿町の空き部屋を建物所有者と連携して旅行者向け宿として改装し、事業として行いつつ新しい人の流れを創り出している。2004年から横浜寿町を拠点に街の資源を有効活用し、街に新たな産業を創る取り組みを行っている。横浜では地域にある簡易宿泊所の空き家を活用し旅行者向け安宿に変貌させたYOKOHAMA HOSTEL VILLAGEを運営している。</p>
岡本 英志	おかもと ひでし	マルチプロデュースオフィス プラス	<p>経営革新や地域振興・農商工連携などは、言葉による事業化プランは立てられるが、具体的に実行して実績を上げるところまでたどり着ける事業者は多くない。机上のプランニングではなく、事業者と並走しながら、企業の潜在能力を引き出し、営業方法やプレゼンテーション方法などもプロデュース。地域資源と地域産業の連携を推進しながら、農商工連携・6次産業化などのアライアンスを通じて、地域産業の振興や街づくりに貢献しています。</p>
海津 ゆりえ	かいづ ゆりえ	文教大学国際学部	<p>・1. 資源調査(宝探し)の支援 岩手県二戸市や南大東村など、里山や離島等での資源調査に関わってきました。住民とともに宝探しをし、そこからイノベーションを興す活動を支援しています。答えは観光ばかりではなく、ブランド開発等へも展開していきます。</p> <p>・2. エコツーリズムの推進 西表島や裏磐梯等でエコツーリズムのスタートアップの支援を行ってきました。このようなエコツーリズム推進地域への全般的アドバイス(推進方策、人材育成等)を行います。</p> <p>・3. 宝探しからエコツーリズムへ—観光まちづくりへの支援 地域づくりは長い年月をかけ、多様な人とのネットワークを広げながら進めるものです。数年かけて、宝探しからエコツーリズムの推進までの経緯をトータルでサポートします。</p> <p>・4. その他 学生参加型調査、プロのガイドとの協働によるツアー開発、日本エコウォーク環境貢献推進機構との連携による「まちあるき」の開発等、私のチャンネルを活かした支援が可能です。</p>
柿崎 邦雄	かぎざき くにお	元気な街づくりコンサルタント	<p>○改正街づくり三法による街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定に関する取り組みへのアドバイス ・法定協議会及び街づくり会社設立に関する取り組みへのアドバイス <p>○改正街づくり三法に基づかない街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街づくりへの基本的な取り組み方法へのアドバイス ・ソフト・ハード事業の取り組み方法へのアドバイス ・人づくりから始める街づくりの取り組み方法へのアドバイス
鍵屋 一	かぎや はじめ	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部/(一社)福祉防災コミュニティ協会	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体職員として、廃棄物条例、防災基本条例の起草。地域防災の基本書を目指した「地域防災力強化宣言」を出版。防災関係の講演、自治体職員向け研修など多数。特に、全国各地で災害時要援護者支援とまちづくりの連携について話す機会が多い。 ・NPO理事として、「日本耐震グランプリ」など防災関係のイベント多数。最近では東京いのちのポータルサイトの「新大学生のみなさん、地震に強い部屋に住もう」キャンペーンがNHKで取り上げられる。 ・内閣府地区防災計画アドバイザー、内閣府主催の防災フェア、防災とボランティアのつどい、などでコーディネータを務める。 ・福祉施設、特別支援学校等の事業継続計画(BCP)作成支援活動を実施中。 ・マンション生活継続計画(MLCP)作成支援活動を実施中。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
春日 隆司	かすが たかし	特定非営利法人しもかわ森林未来研究所(北海道下川町)	<ul style="list-style-type: none"> ○地方創生総合戦略 ○森林・バイオマス活用による地域振興 ○二酸化炭素吸収・削減クレジット創造 ○環境未来都市 ○自然資本 ○持続可能な開発目標(SDGs)準拠のまちづくり ○その他地域振興全般
春日 俊雄	かすが としお	かやぶき集落 荻ノ島	<p>1988年から地域住民と協働して、地域のビジョンづくり及び実践、純産品マーケティング、人材養成、イベントづくりを行政職員として主導・自ら実践。交流観光施設「じよんのび村」、「茅葺の里」などに取り組み交流人口を3万人から23万人に伸ばした。その後も、特色ある集落振興ビジョンづくりや中山間地域直接支払い制度事業に取り組む。</p> <p>また、市町村合併後の広域観光まちづくり「柏崎市七街道観光まちづくり事業」を観光交流課長として主導し、地域住民と協働で取り組む。新潟県中越沖地震の発生による観光客対応から観光復興までを取り組む。宮城県町村会をはじめ新潟県村上市朝日地区などの依頼により「協働の地域づくりに係る助言・指導」及び地元の「住民の起業に係る助言・指導」に取り組む。また住んでいる荻ノ島集落についても新たな集落経営に向けて2011年ビジョンづくり、2012年外部人材の導入・空き家の実測、2013年～集落経営のツールとしての施設整備に取り組むなど実践している。</p>
金丸 弘美	かなまる ひろみ	(有)万来社	2000年から、食の地域づくりの取材活動、食のワークショップの展開、出版活動の連携を行い、運動と行動、実地活動と出版とプロモーションのコラボレーションを行っている。とくに食からの地域づくりと食育に関しては、さまざまな視点からの実践活動と本作りを試みている。
兼古 哲也	かねこ てつや	北月山自然景観交流振興プロデューサー	平成19年2つの町の合併によって生まれた山と町場の交流が地域を見直すチャンスとなり、庄内町唯一の観光宿泊施設「月の沢温泉北月山荘」で、一度は閉店した食堂を地元主婦グループらの協働で主婦レストラン「やまぶどう」を開業した。使用する食材は地元で採れた山菜や新鮮野菜に美味しいお米といった地場産100%の素材、その食材本来の味を大切にした地元料理が好評で、利用者の増加に結びついている。平成26年から「やまぶどうの会」が町の淡水魚養殖施設の指定管理者となって、町の特産品でもあるイワナの養殖販売の運営をしている。また、北月山自然景観交流施設振興プロデューサーとして、北月山荘を拠点に自然体験や農業体験等グリーン・ツーリズムの推進、地元高校への観光出前講座等を実施している。
川崎 克寛	かわさき かつひろ	E-planning つなプロ気仙沼	2010年より内閣府地域社会雇用創造事業(ソーシャルビジネスネットワーク大学四国キャンパスのインターンシップ事業)のメンターとして関わり、四国の学生と地域企業とのマッチング・コーディネート活動に携わる。また、四国経済産業局主催の企業向けセミナーにおいて、コーディネーターとして参加。2011年3月から、東北での支援活動「つなプロ」に参画し、エリアマネージャーとして、現地にて地域住民の生活サポート、ボランティアスタッフのコーディネート活動のほか、同年6月より、ソーシャルビジネスネットワーク大学四国キャンパスの復興支援インターンシップ事業である、岩手県陸前高田市で行われたT-ACT事業にも参画し、現地ディレクターとして、50名を超える学生を導入し、地域再生プロジェクトのコーディネート活動を行っている。
かわべ まゆみ	かわべ まゆみ	いまるネット株式会社 / kawavex	1空き家活用・定住促進 2コミュニティ・ビジネス開発支援 3地域マーケティング、特産品開発 4地域のIT化促進、ネット通販 5交流促進、田舎ツーリズム

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
北尾 洋二	きたお ようじ	株式会社ザメディアジョン・リー ジョナル／大分県立芸術文化短 期大学 情報コミュニケーション学 科	<p>「地域のために、地域を越えて」及び「新卒採用で地方創生」をミッションとした、新しいタイプの「創職」サポート・「ジョブメーカー」として日々活動しています。メディアのアレンジメントから出版・広告代理・編集プロダクション、まちづくりコーディネート・社会調査、ワークライフバランス、男女共同参画推進、障害者雇用支援、新卒採用支援に至るまで、地域活性化から企業活性化までをカバーします。「ご縁と感謝の経営」を軸にしな がら、「ひとつづくり まちづくり くにつくり」をモットーに活動を展開しています。</p> <p>● 地域活性化と発展は「雇用・就職」から／学生、企業、地域社会の立場をしっかりと理解し、お互いの納得度を高める就職支援と企業の採用支援(採用ノウハウの提供、経営指導など)、そして地域コミュニティとしての場づくりを行なっています。(実績:文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」、厚生労働省「地域人づくり事業」、島根県庁、山口県庁、大阪府大阪市、岡山県岡山市、山口県山口市・下関市・岩国市、島根県益田市など)</p> <p>● 地域資源の掘り起こしを「若者目線」で／アクティブラーニング(サービスマーケティング)の手法を用いたフィールドワークで、地域の課題を若者目線で改善提案。「連携」という言葉の枠を越えた、地域づくりを展開しています。(実績:文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」、厚生労働省「地域人づくり事業」、日本環境協会「いきものみつけファーム」及び「こどもエコクラブ」、各自自治体「まちづくり講演会」、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS/facebook, twitter, Instagramなど)を活用した情報発信事業及びイベント企画、SNSに関する利用実態調査、地域の魅力度調査、大分県竹田市・豊後高田市・姫島村、山口県山口市・下関市・宇部市、島根県江津市、高知県宿毛市、宮崎県串間市、山口銀行・山口フィナンシャルグループなど)</p> <p>● 地域の歴史をテーマとした研究活動、魅力発見及び研修事業展開／歴史街道・萩往還散策マップ実行委員会、夢街道ルネサンス、知覧研修、萩・松下村塾をテーマとした現地調査活動、月刊松下村塾・月刊高杉晋作・龍馬と長州等の歴史ムック発刊とプロモーション、日本風景街道などの調査研究及び産学連携のフィールドワークを実施しています。(実績:文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」、鹿児島県南九州市、山口県周南市・萩市・山口市・防府市・下関市、宮崎県串間市など)</p>
熊倉 浩靖	くまくら ひろやす	群馬県立女子大学	<p>(1)小学校区等を単位とした地域づくりを歴・文化資源を生かして支援 (2)市町村行政評価・ガバナンス改革をベンチマーキング手法で分析・支援 (3)環境省環境評価プログラム「エコアクション21」普及・啓発 (4)大学では、内発的發展論、ワークショップ、上野三碑、東国文化、地球環境と群馬、上毛かるたなどを講義</p>
小島 由光	こじま よしみつ	株式会社スーパーソニック / 五島列島水産流通株式会社	<p>第3次産業(流通・外食マーケティング)の目線で第1次産業、第2次産業を結びつける6次産業化を実践。地域の特産品を見出し、川下の流通戦略をもって生産物が流通し、地域活性化に繋がる仕組み構築を行います。第1次産業・・・地域活性化支援事業 農産物・水産物のブランディング及び流通提案 第2次産業・・・地域特産品の消費マーケットニーズ、ターゲティングを踏まえた商品開発提案 第3次産業・・・流通、外食事業コンサルティング、経営分析。●水産物(鮮魚)の産地直送の仕組み構築による目詰まり解消を行う。飲食店への直接 流通によって生産者の収入高と購入者の仕入れコスト減を実現、また産地直送により最短時間で届くため鮮度保持が向上し、多くの水産物流通につながる。(五島列島水産 流通) ●地域活性化に伴う地元主体組織構築と特産品開発、ブランディングにより地産地消 型消費構造から地産他消に拡大。地域の知名度向上と特産品販売増を実施。(久賀島 ファーム)</p>
小林 英嗣	こばやし ひでつぐ	一般社団法人 都市・地域共創 研究所／北海道大学	<p>①地域の主体(行政・NPO・住民・企業・大学など)との連携を構築しつつ、都市や地域の創造的再生を臨床学的かつ協働的に支援。 ②全国の地方都市と地方大学の共創的なキャンパスマスタープランの立案と地域再生と結びつく実現戦略を支援。 ③地方都市において、「シティ・ブランディングとなる大学と地域社会との連携と共生による創造的再生」の戦略と戦術、加えてマネジメントプログラムを、まちづくりとキャンパスづくりの両側面から支援。 ④全国まちづくり活動をNPO日本都市計画家協会・会長として発掘・支援し、全国まちづくり大会を開催。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
駒田 健太郎	こまだ けんたろう	コマケンラボ	2013年～ 会津の新しい地域ブランド「ハンサムウーマン」プロデュース(経済産業省補助事業) 2013年 会津地域の観光地域づくり事業プロデュース 2015年～ 栃木県鹿沼市「加蘇芸術村」プロデュース、アートディレクション 2015年～ 鹿沼市産梨「にっこりなし」の海外展開プロデュース 2013年～ 鹿沼さつき盆栽&組子細工の海外展開プロデュース(経済産業省クールジャパン事業) 2008年～ 鹿沼市観光ネットワーク計画策定、観光サインデザイン 2013年～ 岐阜県白川町エコツーリズム推進業務 2008年 岐阜県笠松町 リバーサイドタウン笠松計画(まちづくりマスタープラン)策定
小柳 繁	こやなぎ しげる	農村環境保全・上三光清流の会 ／NPO法人加治川ネット21	○いずれも継続的に活動している。コンセプトをしっかりと持たせることが大切。
小山 厚子	こやま あつこ	小山編集室	「市は出会いの場」を合言葉に、農家と食べ手が協働して運営する直売市活動「朝市夕市ネットワーク」、地域の食と農を守る「鳴子の米プロジェクト」、東日本大震災による大津波で被害の大きかった南三陸沿岸漁村部の漁家と都市の食卓をつなぐ「婦人之友 十三浜わかめクラブ」などの活動に関わる。
西郷 真理子	さいごう まりこ	一般社団法人チームまちづくり ／株式会社まちづくりカンパニー・シーブネットワーク	■都市計画家、建築家という専門家の職能をまちづくりのなかで総合的にとらえ住民とのパートナーシップでプロジェクトを遂行している。特にコミュニティをテーマにしたまちづくり「既存市街地の再生」に関して研究活動、実践活動を行っている。 ■高松丸亀町商店街再開発事業:A街区第一種市街地再開発事業及びB/C街区小規模連鎖型再開発事業に係わる総合コンサルタント、権利変換、建築設計・監理業務、国土交通省委託高松丸亀町商店街タウンマネジメントプログラム構築事業、高松まちづくり会社設立のサポート。 ■中心市街地活性化計画として長浜市、山口市、沼津市、板橋区等の商店街活性化戦略プログラム構築事業、震災復興計画として石巻市等各地のまちづくりを支援。 ■歴史的な町並み保存と地場産業活性化:川越蔵づくりの町並み保存、長浜の商店街活性化、漆の産地活性化のための「木曾くらしの工芸館」の計画立案と建築設計。
佐々倉 玲於	ささくら れお	一般社団法人いなかパイブ	高知県・四万十川流域に暮らしながら、「いなか」と「とかい」をつなげる事業開発&人材育成に取り組んでいます。海・山・川の一次産業の再生に向けて、農家さんや漁師さんたちとインターンシップ事業や起業家育成の事業に取り組んだり、商品開発や観光開発に関わるワークショップの企画運営を行っています。
佐藤 皓祠	さとう ひろし	有限会社日智(ニッチ)	・地域環境と住まい手ニーズをしっかりと検証したまちづくり計画の推進支援 ・地域ポテンシャル分析とともに、「住まい手ニーズ」と「主体者ニーズ」の掘り起こし ・地域資源(人、もの、歴史、観光、文化、環境など)の開拓 ・まち機能(医療福祉、教育、環境整備、生活利便施設など)の配置とゾーニング計画 ・まちづくりの担い手人材育成・継続できるまちづくりの仕組みづくり指導 ・地域コミュニティ創出に向けたサービスや収益事業、施設計画事業などの指導 ・中心市街地活性化基本計画の推進におけるプロセスマネジメントの指導
佐野 綾子	さの あやこ	International COYA	International COYAは、地方の学校や企業とグローバルコミュニティをつなげます。COYAはグローバル人材の育成を目指す学校、企業、地方公共団体のための、国際教育プログラムの開発と提供を行っています。インターネットを活用したプログラムでは、海外の様々な分野で活躍する多様な国籍の人々が講師となり、それぞれの仕事の内容、人生経験、自国の文化等について、英語でお話します。日本にいながら、参加者一人一人が、世界の多様な価値観に触れ、自分の新しい可能性に気づききっかけとなる講座の提供を目指します。詳しくはHP (http://internationalcoya.com)をご参照ください。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
椎川 忍	しいかわ しのぶ	(一財)地域活性化センター／ (一社)移住・交流推進機構／ 日本創生委員会／地域に飛び出す公務員ネットワーク	人材育成と地域おこしをライフワークとして、土・日・祝日を殆どつぶして全国を行脚し、支援活動や講演を行う。 地域に飛び出す公務員ネットワークを結成。これを応援する首長連合の設立を提唱。国際日本文化研究センターでは「森里海連環」の研究に参画。政策研究大学院大学とも連携。首都大学東京非常勤講師。明治大学公共政策大学院兼任講師。東京農業大学客員教授。由利本荘市特別顧問、北杜市及びいすみ市地域力創造アドバイザー。日本創生委員会では、林業復活・地域創生推進委員会アドバイザーとして活動。農村文明創生日本塾、やねだん故郷創世塾、東京おもちゃ美術館、葉っぱビジネスの(株)いもどり、TOSS(まちづくり教育)、(一社)IGOコミュニケーションズ、NPOフュージョン長池、高知県の地域産業おこし、山形創造NPO支援ネットワーク、東近江市魅知普請、山梨農業協力隊と故宮原文太さんの農業生産法人、日本フットバス協会、関西連続講座、全国各地の市町村職員研修所など数多くの活動と連携。
柴田 いづみ	しばた いづみ	結まちづくり研究所・柴田いづみ まちなか研究室／SKM設計計画事務所	主な取組 1 環境 →内湖再生の基礎調査 琵琶湖の内湖再生の為の活動。 2 中心市街地活性化 → 学生サークルACT(Action Connect with Town)との空きビルを使った中心市街地拠点活動。 3 まちづくり → NPO彦根景観フォーラム副理事長として、又、LLPひこね街の駅等での活動。歴史・景観・まちづくりフォーラム実行委員長。大学より拠点をまちなかに移し、地域に密着したまちづくりに取り組む予定。目白まちづくり倶楽部で各種活動。 4 耐震・防災 →NPO東京いのちのポータルサイト理事として、各方面に提言。防災・耐震・まちづくりフォーラム実行委員長、木造伝統構法の耐震事例づくり。
志村 尚一	しむら しょういち	有限会社ウィルビー/株式会社源喜舎/劇団ぜんとうようくらぶ	「一人一人のキラめきが輝く未来をつくりだす」をモットーに、資源の発掘と活用の仕方、住民一人一人が人材(役に立つ人)となれるような人材育成を、地域に密着して指導・アドバイスをやっている。これまで指導した地域の方々からは、「自分達が気づいてなかった地域の可能性に気づかされ、実践方法も具体的にアドバイスしてくれるので、確実に成果が上がる」との声をいただいている。 現在、岩手県西和賀町の第三セクターゼネラルマネージャーに就任し6年目だが、人材育成と、所得と雇用の確保を目的に、6次産業と相乗効果を生み出す協働という手段を用いながら、地元の資源を生かした産業振興を推し進めている。 平成23年から、三陸の震災被災地で地域コミュニティ再生・復興のための支援活動(延500回)を行っている。 そのほかにも、全国各地で「6次産業化」「農林水産業」「教育」「福祉」「人材育成」など幅広いテーマで、年間100回以上の講演・研修を行っている。 また、自身が主宰する劇団『ぜんとうようくらぶ』は、「介護保険」「食農教育」「協働によるまちづくり」などを題材にした演劇を全国各地で多数上演。他にも、「市民憲章運動推進全国大会」「全国農業青年交換大会」「農山漁村女性の日記念の集い」などで、記念講演や演劇公演を行う。 平成25年から、岩手の銘柄豚「白金豚」の生産農場と連携する居酒屋『源喜屋』の経営を行い、県内の生産者と消費者をつなぐ6次産業化のモデルとして各方面から注目されている。 平成29年からは、各地域や行政などの依頼を受けて、住民の意識改革・行動改革を目的とした、介護予防や地域包括ケアシステムの講演・研修も行う。 《※平成28年の取組概要は別紙参照》
下田 祥裕	しもだ よしひろ	真砂不動産株式会社／[元 NPO法人KAO(カオ)の会]	NPO法人KAOの会では、以下のエリアマネジメント活動を行っていました。 ※()内は活動の概要、【】内は仕組みを表しています。 1.公共空間の維持管理(駅前広場管理業務)【市委託+地域住民直接負担】 2.賑わい創出(イルミネーションイベント、夏祭り、コンサート、寄席)【公民連携、私企業協賛】 3.デザインコントロール(ビル外観や道並み景観の同調)【地権者間調整】 4.テナントミックス(リーシング、営業内容調整)【新規開発ビル商業床の一括借上げ】 このほか、各種講演活動や視察ヒアリングの受入れも実施してきました。 いわき駅前復興まちづくりに於いては、今までの経験を生かしつつ、白紙のキャンパスに描くべく、「地域を元気に」、「未来に夢を」を基本理念として、「30年先を考えたまちづくり」を目標として、今出来ることを一歩一歩進めるべく助言し、実行可能な企画立案を行い、行動することを目指します。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
進士 徹	しんし とおる	NPO法人 あぶくまエヌネット	<p>1. 都市交流「ライフシェアリング」事業の提案をしています。過疎中山間地域には課題が山積しています。課題を交流事業から解決してゆく手法の提案です。1年365日のあなたの7日間を地方で汗を流しましょう・・・</p> <p>2. 地域防災対策、災害教育の視点から地域コミュニティのあり方を探求します。東日本大震災・福島原発事故経験から、非常時に対する備えなど地域間交流を日頃から活発に行う事の重要性をお伝えします。日本＝災害列島。命・地域を守る事をシェアしていきます。</p> <p>3. 地域再生のあり方を、過疎地での自然学校活動経験からお伝えします。キッズツーリズムで日本を元気にする。</p> <p>4. 指導者養成「自然体験・地域リーダー・人材育成・まさかの時の生き残り塾」上記事項を講演・セミナー・ワークショップ形式など受講者の参画型で行います。幼稚園・小・中・高・大学・専門学校、国立青少年自然の家、自治体、各種グループからの依頼。</p>
鈴木 達志	すずき たつし	NPO法人伊豆自然学校	<p>地域コーディネーターとして、農山漁村の地域における資源を有効活用した、持続可能な着地型体験プログラムを開発し、地域全体を巻き込んだ観光プログラムを確立させている。</p> <p>さらに、隣接市町との地域連携を図ることで、地域回遊も取り込んだ広域的視野の取り組みも行い地域活性化を目指す。</p> <p>NPO法人伊豆自然学校を設立し、地域住民と観光客との接点となるビジターセンターを運営し、インストラクター人材育成から安全対策研修会、六次産業化支援など様々な企画を実践している。</p>
鈴木 輝隆	すずき てるたか	立正大学経済学部	<p>山梨県甲州市勝沼町「榊中央葡萄酒」の戦略とブランディング 八王子市「TAKAO 599 MUSEUM」の建設プロデュースと運営協議会のコーディネーター 北海道清里町「清里焼酎ブランド」形成や町の総合的ブランディングのプロデュース 青森県鰺ヶ沢町「タウンプロモーション」のプロデュース 北海道東川町「移住・定住促進」のポスターやパンフレット作成のプロデュース 愛媛県内子町石畳地区「小さな拠点を核としたふるさと集落生活圏形成推進事業」プロデュース 熊本県人吉球磨日本遺産活用協議会「日本遺産人吉球磨ブランドづくり推進事業」総合プロデュース 東京で、毎月1回、社会人と江戸川大学生などが共に学ぶ「ローカルデザイン研究会」を主宰、104回開催</p>
曾根原 久司	そねはら ひさし	NPO法人えがおつなげて	<p>限界集落になってしまった農村地域の耕作放棄地や森林資源といった農村資源の活用を、企業ファームという手法で、三菱地所グループなど多数の企業との連携で行うことによって、農村の活性化に取り組んでいます。また現在は、今までの活動実績を踏まえ、山梨のみならず、北海道、三重、滋賀、広島など、全国の農村地域の活性化の支援や人材育成の活動を行っています。</p>
高橋 聡	たかはし さとる	カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社 公共サービス企画カンパニー	<p>図書館を主軸とした、地域活性の核となる公共施設の企画開発・空間設計・運営を行っています。</p> <p>年中無休・夜9時まで開館、書店やカフェの併設など民間事業と連携した公共施設を実現し、人口5万人の武雄市で、同図書館は1年間で92万人の来館者を迎えました。これは、リニューアル以前と比較すると360%の来館者数です。</p> <p>知の拠点であると同時に賑わいを創出する公共施設として、まちのコミュニティとしての役割も担い、その町の方々によるイベントやワークショップも主催します。子どもからお年寄りまで多様な人が混ざり合う、地域活性化の起点となる「場」や「空間」づくりを展開しています。</p> <p>全国では神奈川県海老名市、宮城県多賀城市において図書館運営。 岡山県高梁市で図書館運営に加え、観光案内業務を開始予定。 宮崎県延岡市では市民活動や待合を主とした市民の為の「場」を企画進行中。 山口県周南市では老朽化した駅ビルのリニューアルを企画進行中です。</p>
高橋 修一	たかはし しゅういち	特定非営利活動法人 あぐりねっと21	<p>○国の各種補助事業を通して多くの地域活性化の実態を把握し、事業後も独自でモニタリングなどにより、地域作りの調査研究を行っています。</p> <p>○東日本大震災で被災した地域の復興のため、土地利用再編、新しいまちづくりの指導助言を行い、円滑な復興事業実施に向けた支援を行っています。</p> <p>○被災した自治会・町内会のコミュニティ再生のため、地域住民と一体となった地域活性化活動をしています。</p> <p>○農村地域の多面的機能保全のため、地域住民と共同の活動をしています。</p> <p>○グリーン・ツーリズムの推進活動をしています。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
高橋 幸照	たかはし ゆきてる	水土里ネット立梅用水	<ul style="list-style-type: none"> ・1993年 農村景観向上のため、住民ボランティアによる「あじさいいっぱい運動」を20年余継続し、勢和地域をあじさいの里として有名にしました。 ・1995年 農村環境保護のため、「ほてい倶楽部」というボランティア団体を組織し、荒廃田を利用したピオトープを整備し、水生生物の保護とイベントの開催を行い、都市と農村の交流を促進しています。 ・1996年 地元住民による手づくり演劇「ほてい葵」に参加し、郷土の偉人、歴史をテーマに講演を行っています。 ・1996年 「ふるさとの水と土に感謝して」をテーマに各種ボランティアの協働により、あじさいまつりを毎年開催し、都市と農村の交流を図っています。 ・2000年 学校教育と連携し、地域住民主導による食農体験を通じたコミュニティースクールを開催。 ・2005年 農村文化の保護と地産地消の拡大を目指し、農業法人「まめや」の設立に参加しました。 ・2007年 自治会、教育機関、図書館、老人会、ボランティア組織、コミュニティビジネス組織、営農組織、水土里ネット等多様な主体(20団体4支援組織)の連携による協議会(多気町勢和地域資源保全・活用協議会)を立ち上げ、地域資源の保全と有効活用(多面的機能支払制度)に努めています。 ・2011年 農業の高齢化と後継者不足解消のため、農事組合法人「元丈の里営農組合」を設立し、旧保育所を活用した農産加工所(6次産業施設「ゆめ工房」)を立ち上げました。 ・2012年 産官学民連携による立梅用水を活用した地産地消型小水力発電「彦電」の開発を推進しています。 ・2016年 農村の福祉を目的に一般社団法人「ふるさと屋」を設立し、その活動源に再生可能エネルギー「小水力+太陽光」を活用し町づくりを進めています。
高村 義晴	たかむら よしはる	日本大学理工学部まちづくり工学科	<ul style="list-style-type: none"> ①大都市等の企業・社員と地域のプロジェクトをマッチングさせる「二地域就労」による、新たな地方再生の仕組みづくりの取組み(二地域就労プロジェクトの提唱) ②「地域の起業」興しによる地域主体の復興の推進(起業復興の提唱) ③「人口減少社会における持続可能な都市・地域づくり」の新たな方法論として、その土地々々の美意識や作法、技、資源を生かした暮らしのスタイル(ライフスタイル)を築き、そのブランド化をととし、手仕事・生業、信頼と絆、誇りを生み出す都市・地域づくりを展開。 ④疲弊の進む郊外型住宅団地の再生法について、「住民の住民による街づくり会社方式」の提唱、土地の利用と所有の分離、また手仕事や楽しみ、暮らしの創造などを提唱。 ⑤その土地々々の多彩な暮らしのスタイル、暮らしの楽しみ方を築き、それに彩られる地域の営みや手工芸品を語る生活文化創造産業の普及運動(クールジャパン)と展開(経産省)
竹内 よし子	たけうち よしこ	特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ①アフリカ・モザンビーク支援関連: 松山市や小学校等と協働し、放置自転車をモザンビークに送り、銃を回収するプロジェクトを支援。放置自転車対策からまちづくり支援、学校教育支援から地域ぐるみの取組みへと発展。現在は、持続可能な社会づくりのための「学び」と「実践」の拠点として現地の公民館建設に取組む。本事業については、学校から地域へと広がり、企業・メディア・ミュージアムなども関わって国際・平和・環境・人権・多文化共生教育の一環を担っている。②東雲公園関連: 公園の一部(未利用地)を活用し、NPO法人えひめ311と愛媛大学とともに「コミュニティファーム」として取組みが展開できるよう、町内会、松山市公園緑地課等関係者との調整を図り、小学校児童の生活科の授業で環境ESDモデル学習の実践を行った。③その他、各種学校との連携により多様な主体が地域のコミュニティづくりに関われるよう支援・助言している。
竹田 純一	たけだ じゅんいち	東京農業大学／農山村支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 社会的協働による山村再生対策構築事業「山村再生支援センター」(林野庁) 里地里山保全方策の検討とモデル地域づくり(環境省) トキの野生復帰をめざした共生と循環の地域社会づくり(環境省、新潟県) 人と自然が織りなす里地環境づくり(農水省、環境省) アベサンショウウオの保全と地域社会づくり(福井県庁) 神奈川県里地里山条例検討委員、里地里山づくり事業、他(神奈川県庁) 日本の里地里山30保全活用コンテスト事務局(読売新聞、環境省) イオン里地里山保全活動(イオン環境財団) この他、エコスクール、再生建築の調査、水俣セミナー、市民政策提言フォーラム、かおり風景百選、星空の街あおぞらの街全国大会(環境省)
武田 昌大	たけだ まさひろ	株式会社kedama	<ul style="list-style-type: none"> ◎秋田県北秋田市に会社を設立。少子高齢化日本一・人口減少率日本一の秋田の活性化をミッションとし奮闘。《農業活性事業》2011年、秋田県の若手米農家集団トラ男のブランディングとネット販売・飲食店への卸売・体験イベントなど独自販路の拡大。出荷量を初年度の60倍に伸ばし、全国に約3000人のファンを獲得。百貨店「高島屋」での販売や、無印良品のサイト販売などの企業コラボも多数実現。都内飲食店への卸売販売など販路開拓された。《古民家活性事業》2015年、秋田県五城目町にある築133年の茅葺古民家をリノベーションして会員制のゲストハウス「シェアビレッジ」をオープン。2015年、グッドデザイン賞ベスト100・特別賞地域づくりデザイン賞受賞。全国に残る古民家を村に変えることで都市と田舎を新たなつながりを拡大中。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
種市 俊也	たねいち しゅんや	有限会社 食と地域・建築研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業をはじめ第1次産業を主産業とする地域における地域活性化や生活・産業基盤整備、災害からの復興の計画立案に、主に行政を支援する立場から関わっています。 ・第3者の計画技術の専門家として、地域の関係者の意向・アイデアの把握、地域の情報収集・分析、実現のためのたたき台案をつくり、意見交換を通じて合意形成につなげる裏方の役割を仕事としています。具体的には、①地域の特色の把握・確認、②資源の探索と活用のためのアイデア出し、③活用方策の練り上げ、④実現のための体制づくり、⑤支援方策導入を目論んだ事業化計画づくりをお手伝いしています。
玉村 雅敏	たまむら まさとし	慶應義塾大学 総合政策学部	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の地域戦略や地域ブランドづくり、価値共創戦略、企業のソーシャルマーケティング戦略やCSV戦略の立案、社会インパクト評価、生活価値や幸福度の評価手法開発、地域マイルージ、ミュージアムマーケティング、学校評価、政策マーケティング(青森県・東海市等)、ぶり奨学プログラム(長島町・水見市)、スポーツによるまちづくりなどのシステム設計を手がける ・全国各地にて、実効性のある総合計画の構築や、トータルマネジメントシステムの構築、計画群の総合化など、自治体経営のシステム構築に従事 ・地域の生活課題や生活価値、幸福度などを、関係者協働で調査し、その「みえる化」と「共有化」から協働・共創を促すシステム構築を支援 ・公共施設のリノベーションや、ミュージアムや図書館等の文化・観光施設、企業のコミュニケーション施設の基本構想検討を支援
坪田 知己	つぼた ともみ	合同会社・Loco共感編集部／京都工芸繊維大学	<p>地域情報発信のための文章指導を日本各地で実施。</p> <p>総務省・地域情報化アドバイザー派遣制度により、福井県坂井市、兵庫県丹波市、京都府宇治市、静岡県掛川市、東京都杉並区、千葉県山武市、群馬県桐生市などで実施。</p> <p>東京・杉並区和田商店街では、指導を受けた女性たちが地元商店街の店主をインタビューし、新聞にして配布したことから、住民と商店の交流が活性化し、2016年11月、東京都商店街グランプリを受賞した。</p> <p>わかりやすく、画期的な文章法が各地で歓迎されている。</p>
富田 宏	とみた ひろし	株式会社 漁村計画	<p>漁村・漁港に係る地域振興計画や中小漁村を中心としたまちづくりに関するコンサルタント活動を中心に、大学などの研究者や現場でのシンポジウムや住民との膝詰めのパネルディスカッション、雑誌・著作等を通じて漁村の地域振興に関する提案及び具体的な直販・交流施設等の企画・基本・実施設計などにも取り組んでいる。</p> <p>日本大震災以後は、ボランティアによる被災漁村復興支援活動と共に、主に水産庁、市町村委託による漁村復興計画策定と並行して、大学、各種学会他のシンポジウム等に積極的に参加、発言を続けている。また、最近では、水産庁の主要施策となっている「浜の活力再生プラン」の策定について、それぞれの漁協等を中心とした再生委員会の活動の相談に応じ、プラン作成を一過性の書類作成に終わらせるのではなく、息の長い漁業・漁村づくりにつなげるための助言・支援を行っている。</p>
豊重 哲郎	とよしげ てつろう	柳谷自治公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に頼らない地域再生 ・自主財源確保に集落営農(さつまいも栽培)、家畜の悪臭対策に土着菌製造販売、PB商品として焼酎「やねだん」製造販売、加工商品等 ・自主財源活用 <p>2006年に全戸に余剰金500万円から1万円ボーナス支給 7,000円の自治公民館費(年間)を4,000円に減額 高齢者の孤独死対策に緊急警報器設置、シルバーカード貸与 小中学生対象に寺子屋開設・空き家を迎賓館と名付けて芸術家7人が移住</p>
長坂 尚登	ながさか なおと	WE LOVE MIKAWA / だいすき課	<p>愛知県豊橋市の商店街マネージャーとして、まちなか活性化のために奔走。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「豊橋まちなかお店マップ」「豊橋まちなか看板娘マップ」の作成 ■空き店舗を改修した交流拠点「花園ベース: HANACOYA」の設置、運営【グッドデザイン賞2014】 ■空き店舗・空き家見学ツアー ■「豊橋に日本一の図書館をつくろうプロジェクト」 <p>などを実施。地元の学生や若手社会人らを、戦力的に活用し、成果を上げている。</p> <p><経歴・実績> H21農水省: 農業を通じた日系ブラジル人青少年と地域社会との共生プロジェクト(豊橋市) H20.21内閣府、H22.23総務省: 高齢者対応の長期滞在旅行の立ち上げ(沖縄県久米島町) H19経産省、H20全国商工会連合会: 食物アレルギー対応旅行の立ち上げ(沖縄県久米島町) その他、国内消費財メーカーなどBtoC企業へのマーケティング調査多数。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
中島 淳	なかしま じゅん	株カルチャーアットフォーシーズンズ	<p>活動のミッション: 日本の地方により多くの「挑戦」をつくること～主体(当事者)と仕組みづくり～</p> <p>観光まちづくり、特産品づくり、移住促進、集落自立化、地域運営・経済事業、地域おこし協力隊サポート、地域の高校魅力化サポート、ローカルベンチャー支援等。 分野は幅広いのですが、全てにおいてその「主体」づくりに注力しています。「誰が」それを行うのかを決めるプロセスを省くと、仕事は楽になりますがその取り組みは継続しません。</p> <p>毎年全国10ヶ所ほどでお世話になっておりますが、いずれの地域も3年間ほどのミッションを負って、現地に入り込みます。特に最近では集落の自立化(自立自治)に関する場面が増えております。とても難しい問題ですが、将来の地域の在り方が問われる重要な問題だと捉えております。</p> <p>【2016年度】沖縄県久米島町、宮崎県綾町・新富町、熊本県甲佐町、高知県香美市、和歌山県印南町、千葉県南房総市、茨城県常陸太田市、福島県塙町・南会津町、山形県飯豊町、岩手県金ヶ崎町、北海道平取町</p>
中村 隆行	なかむら たかゆき	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	<p>1997年に広島県域の中間支援組織として、立ち上げて以来①NPOに関する情報の収集提供事業、②共同事務所の運営、③NPO資源循環システム・資金助成事業としてNPO活動奨励賞、ろうきん寄付システム、ひろしまNPOサポート倶楽部などの仕組みをつくり助成事業を行う。④人材育成事業、⑤大学連携事業、⑥ネットワーク構築などを行っている。</p>
芳賀沼 伸	はがぬま しん	株式会社芳賀沼製作 / NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク 株マストロ・ジェベツ / NPO法人南会津はりゅう里の会	<p><株芳賀沼製作 概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内でログハウスの先駆者として、ログハウス村「はりゅうウッド村」を35年前より建設し、現在98棟となる。 ・2011年東日本大震災後、福島県木造仮設住宅でログハウスでの仮設住宅の提案者メンバーとなり、600棟を建設する。 <p><NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク 概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元林業従事21団体(3森林組合含む)と木材(立木)の価格を守り、収入を増やす為、古くて新しい産業づくりを展開(素材での有効活用法)。 ・森林認証材の具体的な活用法を提案、実施(A・B材-縦ログ・家具、B・C材-日用品・玩具、C材-アロマ、薪利用) <p><株マストロ・ジェベツ 概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内加工業者4社と都市在中デザイナーと組み、海外(ヨーロッパ・中東・アジア)を見据えた木製玩具の販売展開中。 <p><NPO法人南会津はりゅう里の会 概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民とターナー・二地域居住者(土地を借地方式とした「はりゅうウッド村」の住人)による、山村での豊かな生き方・暮らし方の実践を現在進行中、事務局の役割をになう。アロマ事業を開業し、地元住民が採取した枝葉でオイルを精製し、出口販売先と共同で新しい職づくりを展開。 ・山村大学から継続している野外教育事業を発展し、広大なフィールドを活用した新たな観光産業を展開。
橋立 達夫	はしだて たつお	作新学院大学経営学部	<p>集落活性化を中心テーマとして、地域の方々とワークショップを行う中で、地域の課題を明らかにし、解決の方策を考える取組みを行っている。地域の中に秘められている活性化に向けての力に気づいていただくことにより、可能性が見えてくる。また、ワークショップを行う過程で、事業実施の機運と体制を作っていくことを重視している。</p>
花井 恒三	はない こうぞう	奄美のトラさん	<p>①奄美と本土・沖縄の人材マッチング(ヒューマンネットワークウェア)</p> <p>②本土・沖縄から奄美に住みたい・投資をしたい・貢献したい方、奄美を調査・研究・提言したい方、奄美で自分を極めたい、表現したい方(マドンナ、男性 含む)への奄美の入口案内ボランティア。</p>

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
林 賢司	はやし けんじ	(株)FoundingBase	<p>地域に新たな活動を起こす時、そこには「新たなアイデア」と「実現に向けて活動を牽引する人材」が必要となる。また、ただ活動を展開するだけではなく、住民との調整を行ったり、役場と議論して目的を整理する必要もある。私たちは「地域おこし協力隊制度」を活用し、都心部から優秀な大学生・若手社会人を地方に送り込み、現地で彼らの活動の支援する仕組みを作った。これにより、若者が「新たなアイデア」を作り、かつその若者が中心となって役場や住民と一緒に活動を展開していくことができていく。これまでに、カリフォルニア大学バークレー校・東京大学大学院・慶應義塾大学大学院など出た学生・若手社会人『述べ56人』が、島根県津和野町・岡山県和気町・岡山県吉備中央町・鳥取県に入り、主に教育・観光・農業・林業の分野で、地域住民と一緒にあったまちづくり活動を行っている。</p> <p>■ これまで支援してきた活動(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津和野高校魅力化事業(島根県津和野町) http://tsuwano.ed.jp/ ・津和野型自伐林業推進事業(島根県津和野町) http://tsuwano-ringyo.net/ ・地産地消推進事業(岡山県吉備中央町) http://www.kibichuomarche.com/ ・地域情報発信事業(島根県津和野町) http://tsmoyo.jp/
林 春野	はやし はるの	Vi@rt(パート)	<p>全国各地の地域の課題に「映像」使ったの取り組み仕組みづくりをしており、距離関係なく、過疎や情報発信に課題を置く地域の魅力を活かす取組をしている。地域に必要な外からの視点と、女性ならではの視点、そして地域そのものが見つめる視点を「映像」を使って対比し、そこから見える地域の課題や地域の守るべき良さや誇り、「ありのまま」を伝え気づいてもらおうと活動中。また、「映像を必要とする場所にこそ映像を」をテーマに、地域の本质である「人」を描くストーリーを構築。それらとSNS等を組み合わせるとともに、地域での映像クリエイターの育成活動(活躍の場の提供)も行っている。</p>
引地 恵	ひきち めぐみ	株式会社WATALIS／一般社団法人WATALIS	<p>震災後は、亘理町職員として救援物資を担当し、体育館内で物資の搬入・搬出などに携わる傍ら、地域文化伝承講座の開設や宮城大学と連携した学習支援(稲盛財団東日本大震災復興ボランティア助成事業)、日本ヒブノセラピー協会主催のメンタルケアセミナー(独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業)の運営などのボランティア活動を実施した。亘理町職員退職後、WATALISを立ち上げ、東日本大震災の被災地域において、着物を再利用した手しごこによる商品を企画・販売し、長時間の就労が困難である高齢の女性や乳幼児を持つ母親などに対する就労支援を行い、地域経済活性化の一助としている。受け継がれてきた地域の文化や人々の思いを商品という形にし、様々な世代の女性たちがその製作者となることで、地域社会が潜在的に持つ高齢者の知恵や縫製技術などの人的パワーを振り起こし次世代に受け継ぎながら、既存の枠組みを越えたあらたな地域コミュニティを創り持続発展させる事業を実施している。</p> <p>2014年1月:復興庁主催REVIVE JAPAN CUP大賞受賞、eco japan cup入賞</p>
平野 彰秀	ひらの あきひで	特定非営利活動法人 地域再生機構	<ul style="list-style-type: none"> ・農山村における地域づくりと自治再生の支援 ・地域住民主導による小水力発電の導入・木質バイオマスボイラー導入の支援
藤井 信雄	ふじい のぶお	四日市市役所(三重県)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画課で近鉄四日市駅西の四日市工業高校跡地開発を担当 ・企画調整課で名古屋圏の主要5都市(名古屋市・豊橋市・岐阜市・浜松市・四日市市)による都市間ネットワークや総合計画策定、四日市地域総合開発整備構想策定などを担当 ・商工課で中心市街地活性化基本計画策定や四日市工業高校跡地開発のリニューアルオープン、技術集積活用型産業再生特区などを担当 ・市民文化課で市民活動による地域再生計画や博物館内の丹羽文雄記念室整備などを担当 ・四日市港管理組合で四日市港長期構想の策定などを担当 ・政策推進部で2011年度から2020年度までの新たな総合計画(基本構想・基本計画・第1次推進計画)の策定、並びに第2次推進計画の策定(2014年1月)、四日市市産業活性化戦略の策定(2014年3月)、四日市市産業活性化戦略に関する提言書に掲げられた先導的事業の推進(2014年度)などを担当
藤田 とし子	ふじた としこ	まちとひと 感動のデザイン研究所	<p>1) 戦略的情報発信事業による、まちのにぎわい創出 & 回遊性の演出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報の受け手」である市民・消費者を「情報の発信者」に！を合言葉に、市民参加型まち歩きMAP＝【ペーパー版facebook】プロジェクトを各地で展開しています。 ・市民有志が自ら住み慣れたまちなかを歩き調査し、集めた情報を自身の言葉でMAPに綴ることで、既成のマップと差別化。情報の受け手の共感→共振→感動のスパイラルを醸成し、「訪れて楽しいまち」のイメージ形成へとつなげていきます。 <p>2) まちのブランディングと新たな担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な主体の参加によるワークショップを開催。地域の現状・特性の把握を行い、「このまちならではの」魅力発見と地域活性化の手法を皆で見出し、まちのブランディングへとつながる事業を展開していきます。 ・事業展開の過程において、地域活性化の新たな担い手を見出し、地域ぐるみで育成していく「しくみ」と「ネットワーク」の形成にも、力を注いでいます。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
藤原 啓	ふじはら けい	株式会社シーズ総合政策研究所	私は、島根県雲南市旧吉田村において昭和58年から現在まで続く「鉄の歴史村づくり」(たたら製鉄の歴史的遺産を活かし、価値向上と情報発信を行うことで地域ブランド価値を高め、ものづくり、交流サービスなどの地域経済振興を図ろうとする活動)を、自治体職員として創始した創業者のもとコンサルティング活動に取り組んできました。前述旧吉田村が雲南市として再スタートする際には、地域と民間が主体となった継承をめざし、平成16年に住民有志とともに株式会社鉄の歴史村を起業。古民家カフェの開業、安全安心の食の加工品製造を軸とする地域ビジネスの起業を実践してきました。こうした現場で蓄積してきたノウハウをもとに、中山間地域の現場で元気にコミュニティデザインを実践する若き担い手世代とのネットワークを活かし、首都圏在住のソーシャル層を対象にした講座「しまこアカデミー(島根県)」を平成24年に、雑誌ソコとともにプロデュース。首都圏在住のソーシャル関心層を対象に、都内での連続講座と現地実習によるプログラムを展開。4期が終了した現在までの4年間に受講生の約3割の島根に移住。また、島根県内での起業3件などの成果があがっています。さらに、2015年度にプロデュースにあたった、首都圏から広島県内の中山間地域の課題解決を支援する仕組み「ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト」では、50名近い受講生が6市町のチームに分かれ、全国に知られるローカルベンチャーなどの実践者8名をメンターとして、半年間講座と現地実習を実施。修了後、各市町の活動を首都圏で応戦するためのNPO法人の設立や自主事業が展開されるなど自律的な活動につながっています。
船崎 美智子	ふなざき みちこ	ライフスタイル協同組合/ライフスタイル研究所/NPO法人やまぐち県民ネット21/公益財団法人山口きらめき財団/山口県立大学	得意分野は、地域づくりを生かしたワークショップのファシリテーターである。地域、行政、企業、大学とNPO等をつなぐための仕組みづくりや、協働事業への取り組みを実施。地域の資源を生かした「地域づくり」、女性の視点で商品やサービスを提案する「モノづくり」、若者の就職支援や企業の人材育成などの「人づくり」の活動をする「地域プロデューサー」として活動している。 特に「農工商連携」や「6次産業化」の講師やシンポジウムのパネリスト、栄養士としての視点を生かして商品開発の企画・運営・経営戦略等の提案を行っている。また、最近では「協働のまちづくり条例」等の講演や協働事例の提供、中山間地域づくりなど広い分野で活動している。 ①6次産業化の取り組みと商品開発 ②まちづくり、地域づくりの実践ワークショップ ③商店街活性化のコーディネーター ④地域コミュニティの場づくり
前神 有里	まえがみ ゆり	愛媛県保健福祉部長寿介護課	虐待対応に行政が責任を持って権限行使できるよう背中を押すサポート体制を官民協働でつくり、ケース会議への専門職派遣や研修など自治体や対応機関からの相談に応えています。 総務省の人材力活性化研究会での人材力活性化プログラム・カリキュラム作成、施策の検討、研修講師などの実績と、自治体職員28年の経験があり、自治体や地域に寄り添いながら人財育成のサポートをします。 また、伴走型支援や異分野・広域・遠隔地の連携による新たな価値づくりが得意で、課題解決から入るのではなく分野を超えて交えていく手法や、まきこむのではなく共感で集まるやり方で進めていきます。 その他、研修講師として全国に出講しています。
松原 裕樹	まつばら ひろき	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	1982年広島生まれ。NPOや企業、渡米経験を経て、環境、教育、地域づくり、観光、防災などに関する事業の企画、運営、支援、コーディネートを行っている。 近年は、参加体験型の学習塾「ブッククラブ」の運営や中国地方でのESD(持続可能な開発のための教育)の推進、協働による持続可能な地域づくりの支援など、現場から後方支援まで幅広く活動している。 平成26年8月20日に発生した広島市豪雨災害では、広島市や広島市社会福祉協議会等と共に、広島市災害ボランティアセンター(現在:広島市復興連携本部)の運営に務めた。
松村 拓也	まつむら たくや	一般社団法人 日本土地資源協会	「空き家を生まない社会の実現」を目指し、ランドリソース活動を展開中。 空き家など、放置されている土地は民有地であることに着目し、民有地の利用・整備・保全に取り組む民間による公益事業を展開中。 東京世田谷で個人の住宅を地域に開放してコミュニティを育てる「笑恵館」を運営中。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
三上 亨	みかみ とおる	(一社)政策集団地域再生青森会議 NPO法人グリーンエネルギー青森	2003年度 あおもり市民風力発電所建設(建設費3億8000万円) 2004年度 市民風車ブランド「風丸」(青森県在来種枝豆)の販売開始 2004年度 コミュニティビジネスと地域再生の支援開始 2005年度 市民・NPO・町協働の「鱒ヶ沢マッチングファンド」助成事業開始(～2008年度) 2005年度 グリーンエネルギー青森が、総務省から過疎地域自立活性化表彰を受ける。 2005年度 津軽鉄道・津軽鉄道サポーターズクラブの支援開始。 2006年度 都市再生モデル調査で、津軽鉄道再生に向けたアクションプランを策定。 2007年度 青森県大鰐町で、OH!!元気隊の設立を支援。町再生に向けたアクションプラン策定。 2008年度 津軽鉄道サポーターズクラブが総務省から過疎地域自立活性化表彰を受ける。 2008年度 元気隊有志がプロジェクトおおわに事業協同組合を設立。赤字施設「大鰐町地域交流センター鰐come」の指定管理受託決定。 2009年度 指定管理受託初年度で、鰐comeの黒字化を達成。 2012年度 プロジェクトおおわに事業協同組合が、地域づくり総務大臣表彰を受ける。 2016年度 大鰐町大鰐増産推進委員会地方創生事業受託 2016年度 プロジェクトおおわに事業協同組合が地域づくり国土交通大臣賞金賞を受賞
満尾 哲広	みつお あきひろ	フルライトスペース株式会社	図書館を含めた、公共施設の新しいあり方・役割・運営方法が見直され、注目されている昨今において、公共図書館の計画だけでなく、実際の現場にて計画から準備、そして運営をマネジメントの観点から支援を行います。 全国の様々な地域の図書館や関連施設整備を支援してきた経験は、公共図書館の更なるまちづくりの拠点機能への活かされるものであり、抱えている課題や状況、条件の異なる中で、画一的な図書館・公共施設ではなく、その地域に合った機能の提供などを地域や地域の方々と一緒にやって取り組むことで、地域の課題解決につなげていきます。
宮 桂子	みや けいこ	NPO法人 菜の花トラスト	'97菜の花サポーター(第1期)登録
森山 明能	もりやま あきよし	七尾自動車学校/株式会社御祓川	故郷である石川県七尾市をベースに、民間まちづくり会社のシニアコーディネーターとして地域や企業の担い手の挑戦をサポートしています。地域ネット商社機能/インターンプロジェクトの開発・マッチング・実施運営/クラウドファンディング募集サポートなど複数の支援メニューを組み合わせて「マチ・ミセ・ヒト」の関係性の再構築を目指しています。特に、「能登留学」では、これまでに200名を超える大学生(内、長期100名超)と地域の企業/組織をつなげ、受入先の改革・活性化を支援すると共に、若手人材の地域誘致に結びつけて来ています。また、上記のサービスについて効率よく利用してもらうことと地域の人材育成を組み合わせたプロジェクトとして、2015年10月からはコミュニティ大学「御祓川大学」の運営もスタートしました。 近年は、能登と首都圏の人や組織を結びつけて実施するプロジェクトのコーディネートに多く携わっています。具体例として、丸の内朝大学では、地域プロデューサークラス受講生受入をきっかけに能登島地区の若手経営者・公務員・漁師などが集まったコミュニティ組織「能登島観光協会青年部」の発足に携わりました。同組織が主催しているコミュニティ型観光プログラム「うれし!たのし!島流し!」はリピート率6割を超える人気プログラムに成長し、能登島の地域づくり人材の育成と東京における能登島コミュニティの醸成に繋がってきています。 このように七尾自動車学校(家業)も含めた地域内での活動をベースとしつつも、能登のトライセクターリーダーとして活躍していけるよう、能登/首都圏、民間/行政、公/私などの隔たり無き活動を行っています。
山岸 秀雄	やまぎし ひでお	NPOサポートセンター/法政大学法学部	NPOの社会的役割である「地域・社会の課題解決と社会システムの変革」をよびかけ、全国のNPOと中間支援組織の支援を続けて約4半世紀が経った。NPOには様々な役割があるが、私とNPOサポートセンターは人材育成・雇用問題と政策提言を軸に「産官学民プラットフォーム」(NPOと大学を主軸にしたコミュニティ創り)、社会的企業、新しいコミュニティ創造としてのマンション問題の実験、NPOの教育力による地域教育の再生等に取り組んでいる。個人的には湘南最大の自然(660ヘクタール)を誇る二子山山系自然保護活動の事務局長として産官学民の協働事業を行っている。

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
山下 雅司	やました まさし	有)ヤマイチ山下総業/独)中小機構基盤整備機構北海道本部	(1)全国商店街支援パートナーとしての受託業務 ①トータルプラン作成支援事業(プランづくりコース) ・網走中央商店街振興組合(平成25年度～平成26年度) ・栗山駅前通り商店街(平成26年度) ・根室市緑町商店街振興組合(平成27年度) (2)経済産業省補助事業に係わる調査事業 ・平成26年度北竜町商業自立促進調査分析事業(ニーズ調査) ・平成28年度根室市地域まちなか商業活性化支援事業(ニーズ調査) ・平成28年度森町地域まちなか商業活性化支援事業(ニーズ調査) ・平成28年度斜里町伴走型小規模事業者支援推進事業(ニーズ調査) (3)道の駅に関する経営診断 真狩フラワー振興公社・美深町双子座館 (実態調査)滝川市・中札内村・大樹町・忠類村 (4)地域振興計画の策定 清水町・北竜町・余市町・芦別市・栗山町・初山別村・幌加内町他
山田 崇	やまだ たかし	空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクトnanoda(なのだ)	「空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクトnanoda」を2012年4月から開始。「地域の課題を想像で捉えるのではなく、実際に住んでみないと商店街の現状・課題はわからない」と、地元塩尻の「大門商店街」に空き家を借りて可能な限り身を置き、毎朝降りてしまったシャッターを開ける取り組みから、地域、大学生、首都圏の社会人を巻き込むプロジェクトに発展。「信州移住計画」2016年6月スタート 地域の外に飛び出すと、地域の中に遊びに来る人が増える。「空き家nanoda」は、交流人口増加や移住者コミュニティとしての受け皿に発展。結果、商店街の空き店舗だった拠点に10ヶ月で126人が短期滞在、3年間で商店街に5人が移住。民間団体等を連携させた「信州移住計画」を設立。京都からスタートした「京都移住計画」、全国的に広がりみせる「みんなの移住計画」との連携により、「好きなまちで自分らしく暮らす」をコンセプトとした若者の移住定住支援を行う。
養父 信夫	ようふ のぶお	一般社団法人九州のムラ	“ムラの命をマチの暮らしに、マチの力をムラの生業に”を理念に、この18年間、都市農村交流をプロデュース。主な取り組みは 1. 雑誌編集長として地域の情報を発信。(「九州のムラ」「九州のムラへ行こう」を経て「Nippon / MURA」へ。 2. 観光地域づくりによる地方創生コンサルティング。地域おこし協力隊の導入(約50名)も組み合わせ、新たな観光、食の六次化などを地域に展開。 3. 民間企業を地域に繋げていくプロジェクト。トヨタ自動車の「Gazoo mura」や福岡地所の九州のムラ市場、キューデンインフォコミウの九州ムラコレ市場 など 4. 九州グリーンツーリズムシンポジウムの主催など GT実践者たちの集まり。 5. SNSを活用した地域の情報発信 FB2500名、メルマガ約5000人
横山 幸司	よこやま こうじ	国立大学法人 滋賀大学社会連携研究センター	私は大きくは次の4つの方法によって地域の活性化・課題解決に取り組んでいます。1つ目に、国や地方自治体の各種行政委員会等への委員等としての参画です。一般行政から教育行政まで、各種行政計画や方針の策定等に携わっています。2つ目は、自治体や団体が実施される研修会等の講師です。自治体職員向けや、企業向けの専門的な研修から、一般市民向けの講演までTPOに応じた講演を実施しています。3つ目は、自治体や団体が実施される研究会やワークショップ、フォーラム等の座長、コーディネーター、ファシリテーター、メンターとしての参画です。4つ目は、自らが「学」の役割を踏まえて事業を主催あるいは共催するものです。「淡海公民連携研究フォーラム」や「先人学研究フォーラム」など産官学金のネットワークの構築、「滋賀大学地域活性化プランナー学び直し塾」や「近江八幡市未来づくりキャンパス」などの地域人材育成システムの企画・運営により、地域経済の活性化、地域人材の育成に取り組んでいます。
吉田 総一郎	よした そういちろう	(株)吉田籐兵衛・アト・カンパニー	再生可能燃料の合成と実践的な地域的活用

氏名	ふりがな	所属名称	取組概要
吉富 慎作	よしとみ しんさく	特定非営利活動法人 土佐山アカデミー	<p>■特定非営利活動法人土佐山アカデミーの取組み</p> <p>土佐山アカデミーは「次の100年のために、新たな出会いやアイデアを生み出す学びの場づくり」というミッションを掲げ、5つの事業ドメインを展開し、年間を通して開催している短期・長期ワークショップや研修には事業開始から延べ9,800人以上が受講しています。</p> <p>【TOSAYAMA ACADEMY(循環型の生活を地域の方から学ぶワークショップ群)】 は、日帰りから3ヶ月滞在型プログラムまで、地域の課題を資源と捉え、それに基づいた年間12本以上のワークショップを展開。</p> <p>【土佐山ワークステイ(中長期滞在支援サービス)】 都会の方に「家を貸し、車を貸し、コネを提供する」土佐山に滞在し、土佐山のための仕事をする方へのプログラム。</p> <p>【EDGE CAMP(中山間地域特化型起業家養成プログラム)】 「雇用がないだけで、仕事はある」。地域での仕事の作り方を6ヶ月間かけて仲間と共に学んでいくものであり、日本財団より補助を得て実施している。</p> <p>【TOSAYAMA Creative Camp(企業・団体研修)】 平成27年から実施。地域の課題を研修教材へと編集し、地域おこし協力隊の研修のみならず、高知県庁、大手企業本社等からの人材育成研修を行っている。</p> <p>【コンサルティング サービス】 企業の事業企画、他地域の地域づくり、交流人口増加のためのコンサルティングや行政の委託事業受注等。</p> <p>■受賞歴 2014年環境省グッドライフアワード 環境と学び特別賞 2016年農林水産省 オーライニッポン大賞受賞</p>
吉野 裕之	よしの ひろゆき	一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団	<p>* NPO・市民活動の支援 とくに資金支援を中心に、NPO・市民活動の支援を行っている。</p> <p>* 調査・研究 NPO・市民活動推進の観点から、まちづくりについての調査・研究を行っている。</p> <p>* その他 NPOの交流会、NPO・市民活動推進のためのシンポジウム・研修会の企画・運営などを行っている。</p>